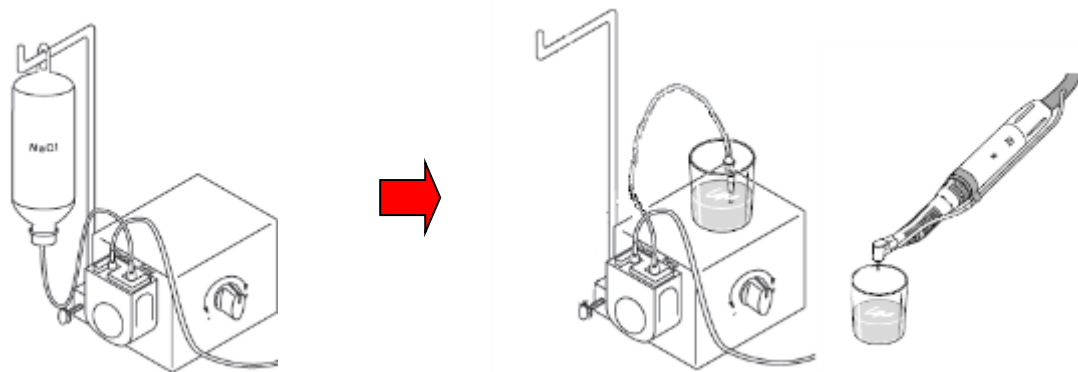


<b>注意</b>	<b>サージェリーモーター等の外科用手術用機器は、患者手術毎に消毒、滅菌を実施してください</b>
-----------	---

● **生理食塩水ラインの rins**

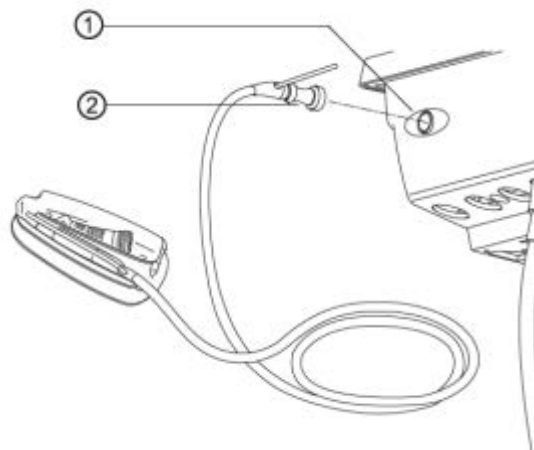
コップに約150ccほどの蒸留水を準備し、生理食塩水溶液からノズルを外し、先端をコップの水に浸します。生理食塩水 (NaCl) の設定が1 (ON) になっているプログラムを選択し、インストルメントモーターを回転させてください。(この時、ハンドピースを装着していないとモーターは回転しません。)  
 また、この rins 作業では、ハンドピースからホース内に残った生理食塩水と水が出ますので、コップで受けて rins 作業を実施してください。コップの水が空になり、水が出なくなるまで実施してください。



<b>注意</b>	<b>この rins 処置をしない場合、ホース内に残った生理食塩水の水分が蒸発し、NaClの固形物がホース内に残り、ホース詰りやポンプ故障の原因になります。</b>
-----------	--

● **消毒・滅菌作業が必要なパーツのお手入れ**

<b>注意</b>	取り外したホースに破れやダメージが確認された場合は、滅菌処理をせず、以後の使用を中止し、別のものとの交換をしてください。 なお、モーターホースのシリコンホースが切れている場合はメンテナンスが可能ですので、メンテナンスの章(48ページ)を参照してください。
-----------	--



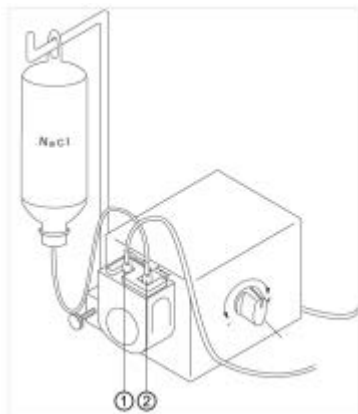
モーターホースをユニットまたはイントラサージから取り外します。

生理食塩水のホースは全て取り外します。

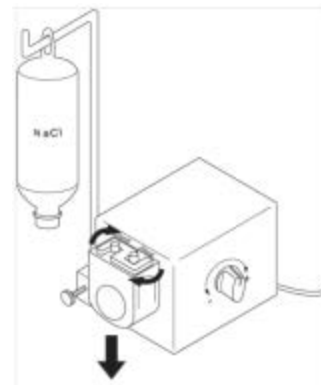
ポンプ内のホースは下手順(1)~(4)の手順で取り外します

## 日常のお手入れ

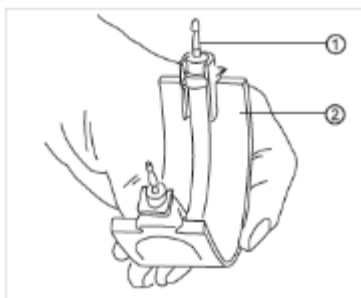
(1) ホース①, ②を外します



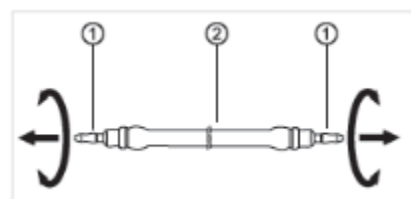
(2) 上部のポンプロックを図のように回して緩め、ホースカバーを外します。



(3) ホースカバー②からホース①を外します。

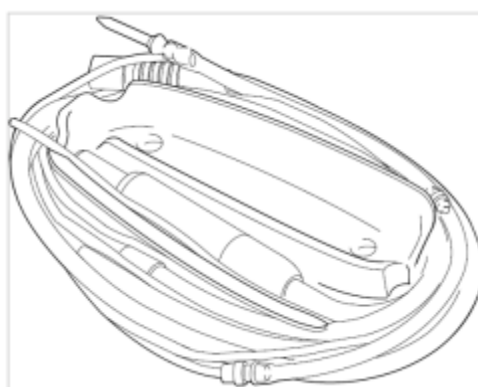


(4) このポンプのホース両端のコネクターは矢印の向きにフリーに回転します。

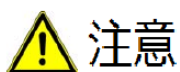


外科用モーター、使用したハンドピース、モーターホース、生理食塩水接続ホースを下図のようにモーターホルダーに巻き取りまとめてください。そしてこれらを洗浄・滅菌エリアに移動させて、十分流水で外側の汚れを取り除いた後、滅菌パックに入れ、135°Cで滅菌処理を実施してください。

ハンドピースのお手入れ方法は、ハンドピースのお手入れの章を参照してください。

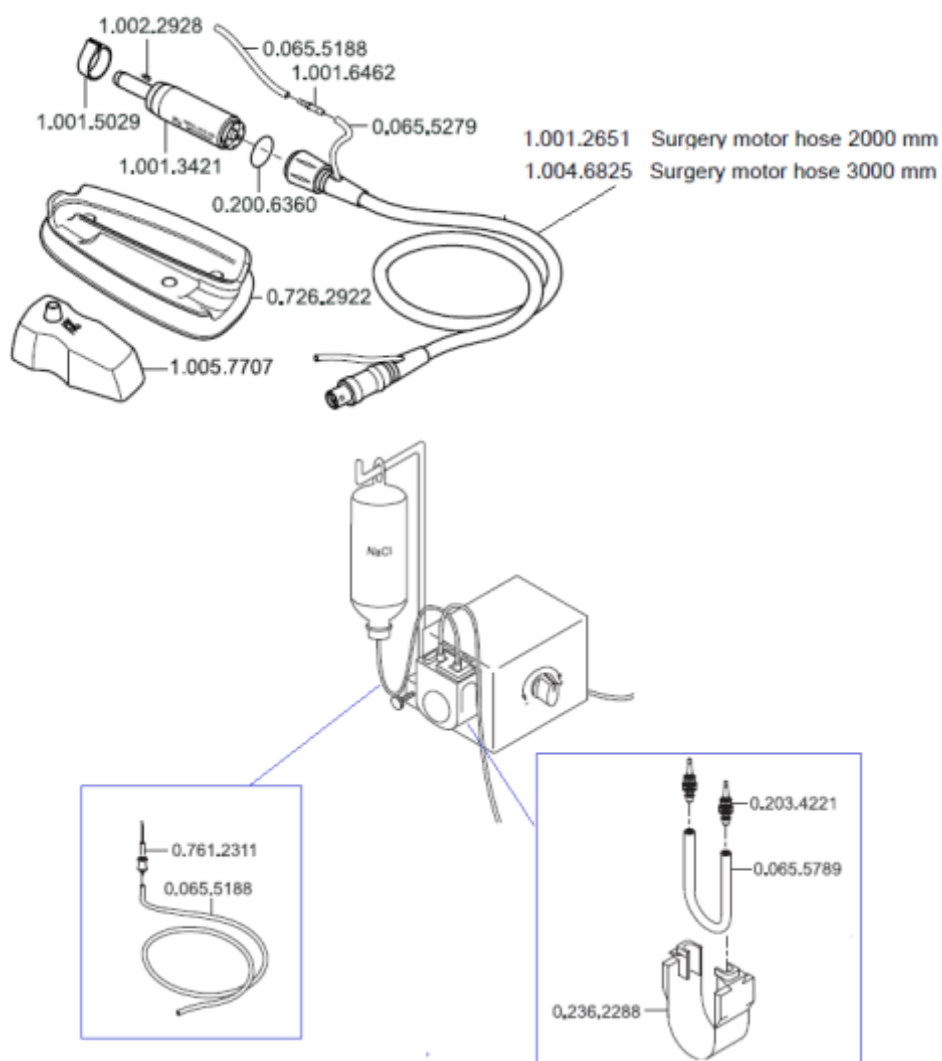


135°Cでの滅菌後、各パーツごとに滅菌パックのまま保管し、次の外科手術まで保管してください。


**注意**

取り外した生理食塩水用のシリコンホース類と、モーターホースは、必ず患者さん毎に滅菌処理を行ってください。

日常のお手入れ



外科手術の頻度が多い場合は、上記パーツを複数保管いただき、患者さん毎に確実な消毒・滅菌を行う事を強く推奨します。